

【授業改善推進プラン 3年 国語】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○登場人物の気持ちや場面の様子を読み取り、工夫して音読することに意欲的である。 ○漢字の読み書き、促音・拗音などの書き取り、主語・述語の整った文など、基礎知識と技能の定着に課題がある。 ○自分の考えを伝えることに、消極的な児童が多い。 ○文章（特に初めて読んだもの）の意味を、正しく読み取ることが難しい。 ○文章が短文になりがちで、理由やまとまりを明確にして書く力が弱い。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○個々の課題に応じた習熟の時間を確保する。 ○安心して自分の考えを発信できる環境作りを継続する。 ○文章の意味を正しく読み取ることができるよう、手立てを充実させる。 ○様々な文章に触れさせるとともに、文章を書く機会を確保する。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字小テストや漢字50問テストなどの機会を活用して、漢字の読み書きを繰り返し練習させる。 自分や友達の書いた文章を見直す習慣を付け、誤字脱字や文のねじれに自分で気付けるようにする。 ○話を聞くときのあいづち（リアクション）を充実させる。 ○読書活動を推進し、豊かな文章に触れさせることで、読み書きの力を向上させる。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○主語・述語・指示語の示す内容について、色分けや下線を引く活動を通して、文章のつくりを理解できるようにする。 ○書かれた文章を、図や絵で表現する活動を取り入れる。 ○国語辞典を教室に置き、言葉の意味を自ら調べる習慣を付ける。

【授業改善推進プラン 3年 社会】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○資料を活用して調べる学習に意欲的に取り組むことができる。○友達との意見交換に意欲的に取り組み、様々な考えを共有することができる。○基礎知識が定着できておらず、地図を読むことができない児童もいる。○調べた情報を整理してまとめることに苦手意識をもっている児童も見られる。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○学習において効果的な資料を用意するのが難しい。○緊急事態宣言下で外部に出て直接体験したり、話を聞いたりする活動の実施が難しい。○基礎知識を定着させる時間を十分に確保することが難しい。
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○資料を読む際の視点をあらかじめ示すようにする。○授業中に、基礎知識を復習する機会を定期的に設ける。○ワークシートを活用し、整理してまとめる方法を学ぶ機会を作る。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○複数資料を用意し、それらの資料を基に、根拠をもって自身の考えを表現させる活動を取り入れる。○グラフ資料などからどういったことがいえるか自身の言葉で表現させる機会を設ける。

【授業改善推進プラン 3年 算数】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習に意欲的、積極的に学習に取り組んでいる児童が多い。 ○学習に取り組めない児童もいる。 ○学力の取り組み状況などの違いが大きい。それに比例して、学力が高い児童、低い児童、2極化している。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○スモールステップで段階的に少しずつ基礎基本を理解できるようにする必要がある。 ○Aコースの意欲的な児童には、さらに発展的な学習教材を用意する必要がある。 ○少人数指導において、個人差に合せた指導を追求する必要がある。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習に取り組めない児童には、授業に夢中になるような具体物等の操作的活動をする。 ○九九が苦手な児童がいるので、九九の100ます計算などを活用して練習させる。 ○前時の学習の振り返り(基礎基本)を徹底して、確実に身に付くよう指導する。 ○根気よく繰り返し指導していくことが大事である。 ○問題の解き方を、児童自身に説明させる機会を設ける。 ○図や数直線図、絵などをもとにして、立式し答えを導けるようにする。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○問題文の中で分かっていること(数量)、聞いていること(答え)を線を引いておさえる。 ○何をどうすれば答えが導けるか、児童に寄り添い立式できるよう支援する。 ○必要に応じて数直線や線分図、絵などに表し文章題理解の一助、立式につながるよう支援する。

【授業改善推進プラン 3年 理科】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○生き物に関する興味関心が高い。○生き物に対する警戒心が強い。○予想を考えるとき、今までの経験から理由を考えようとする。○自分の考えを文章で表すことが苦手である。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○周囲に自然環境が少ない。○新型コロナウイルスの影響もあるが、直接体験をさせる機会が少ない。
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○問題を立てる際、児童の疑問や気付きから問題をつくる。○できるだけ本物に触れられるような授業を展開する。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○既習事項を想起させ、今までの体験から答えを導けるよう支援する。○児童の認識と目の前で起こる事象のずれから問題を作ったり、児童が体験したことの中から問題を作ったりする。

【授業改善推進プラン 3年 音楽】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習に対する意欲は高いが授業規律はあまり守れていない。 ○お互いを認め合う雰囲気があり、安心して表現活動ができています。 ○技能を生かしたり、友達とやさしく教えあったりしながら学んでいる。 ○自分の考えや友達の意見を取り入れながら、主体的・協働的に学んでいる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○安心して表現できる環境を保ちながら、緊張感をもって取り組む学習についての言葉掛けや指導技術が必要である。 ○学習の技能の定着に遅れがある児童に対しての補習にかかる時間が十分ではない。 ○表現活動に一部制約があるため、学習内容に偏りがあり、様々な学習の体験が十分ではない。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○授業のながれで、切り替えポイントを教師が示し、具体的に理解しやすくする。 ○児童の実態に応じた教材解釈を行うと共に、授業内で習得できない技能は、補助プリントや休み時間を利用して補習を行う。 ○新校舎に移り、屋上などの野外を利用したり、フェイスシールドを使用したりして、飛沫防止対策を工夫し。歌唱やリコーダーなどを使用した表現活動を実施する。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽の音色や音の重なりなどの聴き取ったことや、よさや面白さ、美しさなどの感じ取ったことを言語化すると際に聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりを考え、リード分やポイントになる言葉を示しながらイメージを文章にする力を育てていく。

【授業改善推進プラン 3年 図工】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○平面、立体に限らず、図工に対する意欲は高く、主体的に活動に取り組む児童が多い。反面、じっくり試行錯誤することが苦手な児童もいる。 ○お互いを認め合う雰囲気があり、互いの作品や活動を肯定的に鑑賞したり、工具なども安心して使ったりすることができている。 ○既習の知識や技能の定着に児童間で差があるので、思いついたことを表すことに苦戦する児童もいる。 ○カッターの学習経験がない。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○じっくり試行錯誤することが苦手な児童や、技能の定着が十分ではない児童に向けた、より効果的な個別の指導の技術や言葉掛けが必要である。 ○表現活動に一部制約があるため、造形遊び等の共同的な学習の体験が十分ではない。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が自分から考えたいようなモチーフを設定できるように、机間指導をより充実させ、児童理解を図る。 ○活動をスモールステップにするなど、「これができたら次はこの工程を行う」等、試行錯誤が苦手な児童が主体的に取り組める流れを設定する。 ○新型コロナウイルス感染症対策や感染数などの状況を見極めながら、予定している単元を組み替えながら、造形遊びなどの学習活動を行っていく。 ○工作用紙やダンボールを使うなど、学年に合わせたカッターの学習活動を行っていく。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークシートの文章を読んで、どんな活動をするのか理解したり、そこから想像を膨らませて発想に繋げたりする活動を行った。 ○毎回の授業の中で、本時のめあて、本時にがんばったこと・わかったこと、次回の授業に向けての3点を書き、定期的に振り返って読む活動を行っている。

【授業改善推進プラン 3年 体育】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○運動することを好意的に捉えている児童が多い。 ○準備や片付けなども安全に配慮し、協力して行うことができる児童が多い。 ○新しい運動に対しても粘り強く取り組み、成功に向けて努力できる児童が多い。 ○運動能力に個人差があり、苦手意識を持っている児童の動きがぎこちないこともある。 ○動きを友達と見合い、アドバイスを送り合うなど協働的に学習することができる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルスの影響で実施可能な運動に制限がされてしまう。 ○校舎改築に伴い、校庭の広さを十分に確保できていない。 ○運動発表会が延期されたこともあり、本来実施しなければならない単元が十分に実施できていない。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○2学期に校庭が完成してから今までできていなかった運動の機会を十分に確保して実施できるようにしていく。 ○運動能力に差があっても学習を楽しむことができるよう、ワークシートや学習中のルール、学習の場などを工夫して指導する。 ○学習の中で個人のレベルに合わせて内容を選択できるように授業を設定する。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○拡大資料や映像資料を用意し、資料と自身の動きを比較させ、どういったところはできているか、どのように動けば同じ動きになるかなどを学習中に友達同士で伝え合わせる活動を取り入れる。

【授業改善推進プラン 3年 総合的な学習の時間】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○課題について考え、積極的に意見を伝え合っている。○タブレットを使った学習に意欲的に取り組むことができる。○他教科と関連付けて学習することができる。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○資料や、人材などの十分な確保が難しい。○学年合同で行う単元もあるため、細かいところまで目が行き届かない。○表現方法が少なく、同じような方法になってしまっている。
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○事前準備の充実、当日の分担の明確化。○教師が実演し、表現方法の獲得。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○学習のキーワードになる言葉に対しての具体的なイメージを、常に学年全体で共有した上で、学習を進めていくようにする。

【授業改善推進プラン 3年 外国語活動】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○ALTの発音を繰り返したりゲームをしたりして、外国語活動に意欲的に取り組んでいる。○ALTや友達と外国語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童が多い。一方で、コミュニケーションをとることを苦手とする子もいる。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○英語の正しい発音や、児童が理解しやすい指示や説明など、教員の技能を高める必要がある。○広くコミュニケーションを図ろうとする児童の意識を高める必要がある。
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○基本的な英語表現とともに、絵カードやジェスチャーなどを活用し、児童が理解しやすい指示や説明をする。○ペア作りや交流の仕方を工夫し、児童が様々な人とすすんでコミュニケーションを取ることができるようにする。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○絵やジェスチャーから連想したことを言葉で説明させる。○英語表現を、日本語で説明させる。

【授業改善推進プラン 3年 特別の教科 道徳】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○登場人物の心情の変化を自分自身の経験と照らし合わせながら考えることができる。 ○これからの生活をどのようにしていきたいか考えながら授業に臨むことができる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○違う考えをもつ児童に対して寄り添い、安心して自分の考えを表現できる環境作りが必要である。 ○児童の考えを深める指導技術が必要である。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○みんな違ってみんないいという学級の雰囲気、道徳だけでなくすべての教科学習の中で築いていく。 ○ペアトークでのスキルを教員自身も意識的に使っていく。 ○補助発問を充実させ、児童たちが葛藤する場面をつくる。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを友達に説明させる。